

ときわ便り

2026年
4月号
VOL.37



病院理念

明るく開かれた精神科医療をめざし「人権擁護の精神」を尊重し
社会福祉法人としての伝統と、人間愛の精神をもって運営します

〒921-8834 石川県野々市市中林4丁目123番地
TEL (076) 248-5221 (代表) FAX (076) 248-5223

新任医師のご紹介



🌸 火曜日AMと、木曜日PMの外来担当です 🌸



精神保健指定医

ほそかわ ゆきこ
細川 由紀子 医師

出身大学 金沢大学

前勤務地 公立松任石川中央病院

趣味 映画鑑賞、旅行、家庭菜園、グルメ巡り

抱負 チーム医療を大切にし、信頼される存在を目指します

看護部長就任のご挨拶



看護部長

ふじい みすよ
藤井 三寿代

ご挨拶

私たち精神科看護において大切なことは患者様一人一人の尊厳を守り

「自分らしさ」を取り戻すために安心できる環境を提供することだと思っています。その為には私たち看護職が心身ともに健康で、前向きに仕事に取り組める状態であることが欠かせません。患者様にとっての最善を追求するだけでなく、共に働く全ての職員が「この病院で働いて良かった」と思える、誇りの持てる職場づくりを目指してまいります。

新人オリエンテーションの様子



4月に入職した新人職員（看護師、助手）を対象に、オリエンテーションを実施しました。看護部だけでなく、デイケア、リハビリ、連携室など各部署による説明を行い、食養課からは嚥下機能の低下した患者さん用の病院食を実際に食べてみるという、体験しながらの説明もありました。

新人さんの声

- ・新人同士で顔を合わせる機会が安心感につながりました。
- ・事前説明後に各部署の見学をすることで、理解力が向上しました。



シニアの精神科症例検討会を開催しました

3月12日に、地域の医療、介護、看護、障害福祉関係、行政の皆様を対象とした症例検討会を院内で開催しました。計62名の方にご参加いただきました。

テーマ 「支援を強く拒否する認知症の高齢姉妹が二人で生活することは可能か。可能の場合どのような支援が必要か」

講評

内藤院長の講評ではセルフネグレクトの経過には5段階あり、その段階に応じた支援を行うという説明がありました。1段階は否認。2段階は問題認識するが困っていない。3段階は困っているが諦めている。4段階は困っているのは認めても行動に出せない。5段階は行動に移るが結局変わらず失敗の状態。症例の認知症姉妹は1か2段階のため介入する段階ではなく、支援と気づかれにくいような支援をし、その人が家に来て、会話して、そこにいることが当たり前という関係づくりから始める。認知症でもその人が良いか悪いかが記憶に残ると思われるため、まずはそこにいるのが当たり前という関係づくりがスタートになる。介入するには3～4段階の困るのを待ち、すぐに介入できるよう訪問回数を増やし、モニタリングと関係づくりを継続することがセルフネグレクトに対する一つの介入方法とのことでした。

支援のあり方を再考することができた、とても意義深い検討会となりました。



患者さんのお花見の様子

石川県の桜は例年より早く4月3日頃に満開となり、ときわ病院の敷地内では入院中の患者さんたちがお花見を楽しみました。満開の桜の下、笑顔あふれるひとときとなりました。



デイケア作品展

今年の干支作品は、敷き詰められたストローで作られていました！根気のいる作業の結晶です！



一画一画に丁寧さが感じられます

食養課だより

ときわ病院では月に1回、入院患者様へ行事食や季節のデザートを提供しています。



1月

「おせち」料理

1月はおせち料理、4月はフロマージュでした。
5月はシュークリームを予定しています。



3月

和栗のモンブラン



4月

苺のフロマージュ



5月

シュークリーム

無料個別相談のお知らせ

ときわ病院では第3土曜日 9:30 から無料で個別相談を行っています。ご予約は不要ですのでお気軽にお越しください。

2026年	テーマ	担当部署
5月16日 (土)	入院から退院までのご相談について①	病棟
6月20日 (土)	デイケアオープンDay「精神科デイケアをご存じですか」	デイケア
7月18日 (土)	生活の中に作業を生かす	作業療法

初めて受診（入院）希望の方は、必ず事前に地域連携室にお問い合わせください

当院の外来が大変込み合っており、2週間程度の日程調整が必要な状態となっております。事前のご連絡をお願いいたします。入院などお急ぎの方は、可能な限り対応いたします。 直通TEL) 076-248-9502 担当：木下・鷺田・中田